

読者コーナー

読者の皆さんの投稿を歓迎します。内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行ないます。匿名でもかまいませんが、**内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いいたします。手紙かハガキかファクスで送ってください。**



「不登校」をテーマに大きな感動を与えた一人芝居『学校へ行きたいねん!』の一場面

「不登校」をテーマに

PTAと地域で演劇鑑賞

八幡屋小

「学校と地域が力を合わせた子どもたちを健全に育てよう」と「不登校」をテーマにした演劇鑑賞会が八幡屋小学校で催されました。同校PTA主催、地域振興会八幡屋町会連合会共催、新屋英子さん企画・制作、鶴野昭彦さん演出の一人芝居『学校へ行きたいねん!』が上演され、約百二十人が観劇しました。

「学校でのいじめや家庭でのトラブルから学校へ行けなくなった中学三年生の高村すずめ。心安らげる唯一の場所が公園だった。そこで出会った様々な人達。ストラされた銀行員、韓国生まれのお婆さん、部落出身の青年。そして大好きな祖母とのふれあいと別れ。その中からすずめは生きることに意味と大切さを少しずつ感じ始めていった。」

観劇した伊藤レイ子さん(七)は「八幡屋」は「すずめちゃん」が公園での出会いから色んなことを学ぶ場面や、祖母との絆の強さが心に残り、私の孫たちとも重なって涙が出ました。家族みんなで観てほしい芝居です」と話していました。

「小学生の時に痴漢に遭ったからバニック障害になり、こつした公演を重ねながら克服に努め、今も闘っています」などと自らの経験を語り、「周りを心配させまいと我慢してきましたが、信号も出していました」「祖母の存在は大きかった」と周囲の気づきや声かけの大切さを訴えました。

「書を通して地域のふれあいを」と一月二日、三先天満宮で「書き初め・書道展」が開催されました。天満宮奉賛会(貴田太五会長)が呼びかける正月恒例の行事で七回目。

三先・池島小児童が書いた「天空」などの筆文字が展示され、爽やかな墨の匂いが立ち込める社殿。朝十時から午後二時まで親子連れなどが次々と訪れ、筆と硯と半紙が用意された座卓に向かいました。港新聞を

筆字で新年きりり

三先 天満宮で恒例書き初め

「新年を引きました。気持ちで」と参加した三先川口一家は、父親の貴さんが「初春」、母親のあつさんが「日本」、長女の胡鳳さん(二年)が「未来」、長男の和翁君(幼稚園)が「安全」などを書き上げ、神前に奉納していました。

「体を動かしてきたので気持ち落ち着きたい」と参加したのは三先の小杉さん母子。母親の真紀さんは「整った字形で『宇宙』など、娘の莉子さん(三年)は「打ち込み」を意識しながら「元気」など、親戚の庄司輝人君(五年)は「バランス」に気を配りながら豪快に「未来」などを書いていました。世話役の門脇あきさんは「今は筆を持つ機会がほとんどありませんが、こうして心を落ち着けて一年をスタートして頂けたら」と話していました。



「花キアラ」のミニ演奏会も。一月二十八日(土)午後一時半から弁天町市民学習センター講堂で。入場無料。〇九〇-八八六〇-九九一六。GEN(緑の地球ネットワーク) 中国山西省大同市の黄土高原で九二年から緑化協力を続ける認定特定非営利活動法人。協力は①会員になる(年会費一万二千元)②会報を購読する(年間二千元)③絵はがき『黄土高原の花』を購入する(八枚組三百円)④ビデオ『よみがえる森』を購入する(三十分五千元)⑤ワークショップに参加する(次回は四月七・十三日)など。詳細は事務所(市岡一四二四一五階、〇六五七六一六一八)へ。

「足りないを知る」?

(池島1・勝部泰臣78歳) 戦闘日記残された 庄野正さんに敬服

たからではない。ブータンという小さな国に関心がある。ヒマラヤ山脈の中、チベットとインドに挟まれた王国。九州より小さく、人口も一五〇万ほど。この国を訪れた人の報告によると、ガイドの青年が言うそうだ。「国民は『足りない』を知っています。電気や機械の世話にならずとも仏様をお慕いし、幸せに。ガツンと来るが、電車のケイタイ熱中病の若者達、そんな日常風景を今や「奇異」とも感じなくなりました。次回もしつかり読ませてもらいます。

「足りないを知る」? (池島1・勝部泰臣78歳) 戦闘日記残された 庄野正さんに敬服 (磯路3・71歳男性) 船砲兵として南方を転戦された庄野正さんの戦争体験記(前号8面)を興味深く読ませて頂きました。過酷な南の戦場を生き延びた人の報告によると、ガイドの青年が言うそうだ。「国民は『足りない』を知っています。電気や機械の世話にならずとも仏様をお慕いし、幸せに。ガツンと来るが、電車のケイタイ熱中病の若者達、そんな日常風景を今や「奇異」とも感じなくなりました。次回もしつかり読ませてもらいます。

「車イスの寄贈」 (弁天・60歳女性) 「車イス20数台を寄贈」(前号3面)を読んで、「自分に関わりがないことは見えない」「他人の苦しみは見えない」「自分が当たり前の世の中で、自分も障害者で」

ありながら、身銭を切って、しかも一回きりでなく何回も贈り続ける行為は、「凄いい!」の一言です。でも病院職員の言葉にもあるように、決して無理はしないようにと願います。

工場板金の技に感慨 (市岡元町・40代男性) 「みなとの技を訪ねて」の横山板金さんの記事(前号まで6面に連載)を感慨深く読ませて頂きました。私も西区の金属系工場で十数年働いてきましたが、子供の頃から機械いじりが好きで、工業高校から就職したものの、現場はオートメカ化されて手の技を活かせ

る余地はなく、仕事の喜びを感じることはほとんどありません。その欲求不満を「趣味の車の世界で発散しています。それだけに、工場板金の技術に静かな誇りを抱きながら毎日過ごされている横山さんたちを大変羨ましく思っています。時代の流れからして先の見通しは厳しいでしょうが、手作業が必要とされる限り頑張ってください。

労働運動に情熱注ぐ生き方を見習いたい (三先・40代女性) 私は大正区の工場に勤務していますが、「広がり、働く者の連帯!」(十二月号1面)を読んで、「社会に

あいえへん倉庫 1月末まで **買取UP** キャンペーン中

スーパーブランド 査定額+10%UP!!

金・75 1g100円UP!!

古着 査定額+30%UP!!

デジタル家電 査定額+10%UP!!

出張買取専用ダイヤル **0800-200-3160**

赤ちゃん遊んでいます! みんなキラキラしています

基準保育 9~16時(8~18時可)

保育料 収入や家庭事情により 決定(市から補助あり)

♪ヴァイオリンのおけいこしませんか♪
♪ピアノおしえます(中学生以上)♪

ひとみ **人見ベビーセンター**

大阪市 港区磯路2-10-1 電話:PM4:30~ **6574-3423**

自閉症児を応援する気工 ネルギーワーク プロの気工 エネルギー療法士が「自閉症児の体や心が少しでも楽になれば」と始めた。「気楽な参加」を呼びかけ。参加費無料。要予約。毎月第二・四土曜(一月は二十八日、二月は十一、二十五日) 十五時~十八時に松井整骨院 内。弁天四一〇一六、〇六五七二一一六五。

介護と美容の融合 ケアセラピー

2010年厚生労働省認可法人から新しい認定資格ができました。地域社会に幅広く活動してみませんか! **フチ体験授業** できます。

日本ケアセラピー協会 認定教室 株式会社 **090-3350-2840**